

日本最大級“入場無料”のアーバンスポーツの祭典

世界最高峰のトップアスリートが横浜赤レンガ倉庫に集結！

ブレイキンジャパンオープンをはじめ、全8種の人気アーバンスポーツを満喫
「GEAR SPORTS」へと進化する「BEYBLADE X」のスペシャルコンテンツも登場！



来たる10月17日（土）・18日（日）の2日間、横浜赤レンガ倉庫 イベント広場・赤レンガパークにて開催する『YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26（略称：YUSF）』の第1弾コンテンツが発表！今年は、ブレイキン種目で日本ダンススポーツ連盟主催の「JAPAN OPEN 2026」の開催が決定したほか、各競技の大会にも、世界最高峰の舞台で活躍する選手たちの出場が決定するなど、手に汗握るハイレベルなパフォーマンスが期待されます。

競技大会のほかにも、今年は観客をも魅了する「GEAR SPORTS（ギアスポーツ）」へと進化する現代版ベゴマ「ベイブレード」の最新シリーズ「BEYBLADE X」（発売元：株式会社タカトミー）の体験会や、来場者参加型のバトルコンテンツを開催！さらに、毎年大人気の大人から子どもまでアーバンスポーツを気軽にチャレンジできる体験会をはじめ、アパレルアイテムや体験ブースなどが魅力的なストリートカルチャーマーケットなどのスペシャルコンテンツも充実。また、多くのアーバンスポーツの発祥となっているアメリカならではのフード＆ドリンクを楽しめるフードフェス『ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26（略称：AAFF）』は、昨年に引き続き同時開催予定です。横浜赤レンガ倉庫を中心とする一帯に、ストリートカルチャーが一堂に会し、朝から夜まで「観る・体験する・楽しむ」企画をご用意しています。

秋の横浜を熱くする『YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26』は、追加情報が決定次第、公式WEBや公式SNSにて続々と発表予定です。

CONTENTS LINEUP

[アーバンスポーツ]



◆ スケートボード - SKATE ARK

2017年に誕生し、現在では世界で最もレベルの高い“世界大会”として認知される「ARK LEAGUE」。「ライダーによるライダーの為の大会」と掲げているコンセプトは世界各国のライダーが賞賛している。パークやバーチカルなど様々なスタイルがあるスケートボード。そのうち日本人選手が世界のトップレベルで活躍している街中にあるような階段やレールなど障害物のあるコースで競うストリート種目を実施。2022年～2025年に続き、世界で活躍するトップスケーターが出場する。



【Pick-up 選手】

藤澤 虹々可 選手
神奈川県出身 2001/11/8生まれ

6歳からスケートボードを始め、2017年「EXPOSURE」で初優勝。国内外の大会で活躍を続けるほか、ストリート映像作品への出演やガールズイベントの主催など、多方面からスケートボードカルチャーを発信している。

2020年 EXPOSUREオンライン ビデオコンテスト 優勝
2023年4月 日本オープン 優勝
2023年7月 ARK LEAGUE 2位
2024年5月 SLS APEX 優勝
2025年11月 ARK LEAGUE 優勝
2026年4月 日本オープン 4位



◆ BMXフラットランド - FLAT ARK

2013年に「FLAT ARK」として誕生し、2017年から「ARK LEAGUE」として生まれ変わり、現在では世界で最もレベルの高い“世界大会”として認知されている。「ライダーによるライダーの為の大会」をコンセプトに世界各国のライダーが賞賛する大会である。YUSFでは2022年、2023年、2024年、2025年と開催。オーディエンスが分かりやすく楽しめる競技フォーマットを追求する、今大会も大注目の競技である。



【Pick-up 選手】

田圓 尚人 選手
埼玉県出身
1992/2/17生まれ

2022年 YUSF BMX
FLATLAND 1位
2025年 YUSF BMX
FLATLAND 1位



【Pick-up 選手】

森谷 天斗 選手
神奈川県出身
2008/11/23生まれ

2022年 ARK LEAGUE 2位
2024年 キメラゲームズ第2戦、3戦目 3位
2025年 ARK LEAGUE 3位
2026年 ドイツ大会 8位

CONTENTS LINEUP

[アーバンスポーツ]



◆ ブレイキン - JDSF BREAKING JAPAN OPEN

JDSF BREAKING JAPAN OPENは、日本トップクラスのBBOY・BGIRLが集結する国内最高峰のオープン大会。全国各地から選手が参加し、地域を超えて国内トップレベルのバトルを繰り広げる。DJが流す音楽に即興で応えながら、自分だけのスタイルで勝負する熱い駆け引きと、一瞬で会場を沸かせる圧巻のパフォーマンスを見逃すな！

■ 競技概要

種目：ブレイキン 1on1

競技区分：ジュニア(BBOY/BGIRL)・オープン(BBOY/BGIRL)
以上4カテゴリー

※ジュニア区分：中学3年生以下の選手

※オープン区分：高校1年生以上の選手

ジャッジ：JDSF BREAKING オフィシャルジャッジ2026

■ エントリー情報

2026年9月初旬開始予定

■ 最新情報

エントリー情報や参加資格など、詳しくはJDSFブレイキン公式Instagramをご確認ください。

@jdsf_breaking

https://www.instagram.com/jdsf_breaking/

◆ ダブルダッチ - DOUBLE DUTCH ONE'S

2012年に誕生し、ここYUSFでも数々のドラマを生んできたONE'S。今年も頂点を決める戦いをトーナメント方式で開催。上位者は、11月に開催されるDOUBLE DUTCH ONE'S FINAL 2026 への出場権を獲得。2本の縄を操り、アクロバットやダンスなどで跳び越え魅せるストリートスポーツ。NYからその文化は広まり、現在では、世界各地でトップクラスのコンテストが行われており、幅広い年代がプレイしている。高速ステップや、ダイナミックなアクロバット、一糸乱れぬ阿吽の呼吸が見どころ。



◆ パルオニ - YUSF パルオニ TEAM BATTLE 2026

誰もが親しんできた「あそび」である鬼ごっこを競技化した「パルオニ」。安全面に配慮して設置されたキッズ用の障害物（オブスタクルス）使い、1番鬼ごっこがすごい（逃げる+捕まえる）のは誰かを競う！

これまで「パルオニ JAPAN CUP」で個人の頂点を競ってきたパルオニ。今年はチーム対抗戦「YUSF パルオニ TEAM BATTLE 2026」を開催！仲間と力を合わせて勝ち抜く、新たな戦いが始まります。スピードや身のこなしだけでなく、チームワークと戦略も勝敗を分ける、パルオニならではの熱戦にご注目ください！

* カテゴリー、エントリー方法等の詳細は、YUSF '26公式WEBサイトにてお知らせします。

CONTENTS LINEUP

[アーバンスポーツ]



◆パルクール - ONE FLOW BATTLE 2026

これまで数多くの熱い戦いを生み出してきた、究極のパルクールトーナメントOFB。与えられた時間に全てを賭け、唯一無二のワンフローで魅せるOFBが今年もYUSFに帰ってくる！！その一瞬にしか生まれない、最強のムーブを繰り出せるか。スーパートリック、ビッグジャンプ、なんでもあり！個性とスキルがぶつかり合う、究極のバトルを見逃すな！



【Pick-up 選手】

宮崎 裕来 選手
大阪府出身 2002/5/5生まれ

街中で飛び回るのが大好きなパルクールトレーサー。
サイドフリップのコントロールが得意。

アジアチャンピオンシップ 3位
YUSF2025 Pro Division 1位
2026年 TOKIOインカラムipresents parkour
premier cup 3位



【Pick-up 選手】

永井 音寧 選手
大阪府出身 2006/6/17生まれ

日本選手権6連覇を誇り、国際大会で数々の表彰台を獲得する、世界の第一線で活躍するパルクールアスリート。

2022年 KOTC1 優勝
2023年 FIG パルクール・ワールドカップ ソフィア 女子フリースタイル 銅メダル
2025年 The World Games（成都）女子フリースタイル 銀メダル、パルクール日本選手権 女子フリースタイル 6連覇（2019年～2025年）
2026年 FIG World Cup in Montpellier 準優勝



◆フリースタイルフットボール - DRIVE OUT / JFFC 11th Final

【DAY1 | DRIVE OUT】

フリースタイルフットボールとフリースタイルバスケットボールの融合による2on2バトル「DRIVE OUT」。日本一のフリースタイラーコンビの座を勝ち取るのは果たして誰か？そして今回は、18歳以下のフットボール、バスケットボール混合の1on1バトル「UNDER部門」も開催！次世代のボーラー達の活躍にも注目だ。

【DAY2 | JFFC 11th Final】

サッカーのリフティングを魅せるパフォーマンスへと昇華させたフリースタイルフットボールの日本一決定戦！全国からワールドクラスの選手たちが横浜へ集結し、1on1のバトルを繰り広げる。今年で11回目を迎える今大会のチャンピオンは果たして誰が勝ち取るか！



【Pick-up 選手】

Yu-ri 選手
徳島県出身 1998/5/1生まれ

唯一無二のエアムーブ（足技）を武器に、2024年のアジア大会で優勝するなど、現在もとても勢いのある日本人の一人。2025年にはオーストラリアで行われた国際大会で準優勝し、世界への階段を着々と上っている。Red Bull アスリートとして幅広い活動を行っている。



【Pick-up 選手】

Shohei 選手
岡山県出身 1997/1/14生まれ

ダイナミックな身体操作と繊細なボールコントロールを要するスタイルを構築したフリースタイラー。ヨーロッパを旅しながらストリートで心技体を磨き、2020年世界大会個人ショー部門で優勝。2025年、ドイツで開かれた国際大会で優勝した後、全国大会でも優勝を果たし、日本一の称号を手に入れた。

CONTENTS LINEUP

[アーバンスポーツ]



◆ 3x3 - IMPACT - 3x3 TOURNAMENT

無差別級3x3オープントーナメント「IMPACT - 3x3 TOURNAMENT」

肩書きもキャリアも関係ない。必要なのは、目の前の相手をねじ伏せる実力と覚悟だけ。

最高のロケーションと大観衆の中、視線を奪うプレイでIMPACTを残せる奴は誰だ。

◆ 体験会「車いすバスケットTRIAL」

その熱狂を、見るだけで終わらせるな。“パラの格闘技”と呼ばれる車いすバスケットを、誰でも体験可能。

当日は、6度の日本一を誇る「神奈川VANGUARDS」の選手と一緒にPLAY。

競技用車いすに乗り込み、スピード、接触、駆け引きを体感せよ。経験不問。挑戦者、求む。



【Pick-up 選手】

前田 柊 選手
神奈川県出身
1997/2/25生まれ

神奈川VANGUARDSのキャプテンを務める、Class1.5のガード。

2026年度日本代表強化指定次世代カテゴリ選出。

圧倒的なスピードと鋭いチェアワークを武器に、攻守でチームをけん引する。観客を魅了するスピードスター。

天皇杯日本車いすバスケットボール選手権大会で第48回～第50回大会で3連覇を達成。

日本代表として第20回・第22回北九州チャンピオンズカップに出場し、第22回大会では準優勝。

SPECIAL CONTENTS

[スペシャルコンテンツ]

◆ 「BEYBLADE X CASUAL BATTLE DAY」
in YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26

カスタマイズできるバトル専用コマ「ベイブレード」を用いたギアスポーツ【BEYBLADE X】の体験会を開催！

スタッフからのレクチャーや貸出しもあるので誰でも気軽に参加可能。

その他にも参加者同士での勝ち抜き形式バトルコンテンツやイベントステージ、最新ベイブレードや開発プロセスの展示などを予定。

超加速ギミック「X(エクストリーム)ダッシュ」による驚異的なスピードと衝撃で繰り広げられるエクストリームなバトルを体感しよう。

詳細はこちら：<https://beyblade.takaratomy.co.jp/beyblade-x/news/news260827.html>

【ベイブレードについて】

『ベイブレード』は1999年に誕生した、ベーゴマを現代風にアレンジした対戦玩具です。第1世代『爆転シュート ベイブレード』、第2世代『メタルファイト ベイブレード』、第3世代『ベイブレードバースト』、第4世代『BEYBLADE X』の4つのシリーズを通して、世界80以上の国と地域で累計5.6億個以上（2025年9月時点）が出荷されています。最新の『BEYBLADE X』は、ベイブレード（コマ）の軸についている“ギヤ”とスタジアムの“レール”がかみ合うことで、超加速を生み出す新ギミック「X（エクストリーム）ダッシュ」を搭載し、プレイヤーだけではなく観客をも魅了するGEAR SPORTSへと進化しています。

『BEYBLADE X』公式ホームページ：<https://beyblade.takaratomy.co.jp/>

著作権表記：©Homura Kawamoto, Hikaru Muno, PosukaDemizu, BBXProject © T O M Y

SPECIAL CONTENTS

[スペシャルコンテンツ]



© Yoshio Yoshida/YUSF

◆ アーバンスポーツ体験会

知らないスポーツだからこそ、この機会に「アーバンスポーツ」にチャレンジしてみよう。
もしかしたら、楽しすぎてハマっちゃうかも!? やって楽しめるのもYUSFならではの。
※実施予定種目・詳細は、9月下旬頃公開予定。



© Yoshio Yoshida/YUSF

◆ ストリートカルチャーマーケット

アーバンスポーツを「観る・体験する」はもちろん、
ファッションやカルチャーを体験できるショップやブースなど、盛りだくさんのラインアップを取り揃えます。
※詳細は、9月下旬頃公開予定。

◆ アメリカンフードフェス『ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26』
今年も同時開催！

『ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26』は、アメリカングルメが集結する横浜赤レンガ倉庫のフードイベント。スケートボードやBMX、ブレイキンなど多くのアーバンスポーツの発祥となっているアメリカならではのフード&ドリンクを楽しめるキッチンカーが出店し、迫力満点のアーバンスポーツ観戦とともに、食を通じてストリートカルチャーを体感いただけます。

ご家族や友人と“食×スポーツの秋”をお楽しみください。

※詳細は、9月中旬頃公開予定。

< 2025年度開催の様子 >



©Jason Halayko / YUSF



© Ryo Nagatomo /YUSF



© Ryo Nagatomo /YUSF

YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26

[イベント概要]



10月17日（土）・18日（日）の2日間、横浜赤レンガ倉庫がアーバンスポーツの熱気に包まれる！

YUSF '26は、スケートボード、プレイキン、BMXフラットランド、ダブルダッチ、パルクール、パルオニ、3X3、フリースタイルフットボールなど、世界で活躍する選手たちが集結する関東屈指のストリート・アーバンスポーツを集約したフェスティバルです。各競技ごとに世界レベルの大会や体験会などが2日間に渡り開催され、どなたでも無料で世界のトップ選手たちのパフォーマンスを観覧することができます。

今年は昨年に引き続き、アメリカンフードフェス『ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26』も同時開催。そのほか、子どもから大人まで気軽に参加できるアーバンスポーツ体験会や、ファッション＆ストリートアイテムが並ぶマーケットも賑わいを後押しします。横浜赤レンガ倉庫の景観と潮風のロケーションの中、熱く繰り広げられる各競技が見どころです。

YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26

- 開催名称：YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26
会場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場・赤レンガパーク（神奈川県横浜市中区新港1-1）
アクセス：<https://www.yokohama-akarenga.jp/access/>
日時：2026年10月17日（土）・18日（日）11:00～20:00
※雨天中止。競技の開始・終了時間は各競技によって異なります。詳細は後日公開いたします。
入場料：無料 ※飲食や物販代金は別途必要。一部、有料の体験コンテンツあり。
主催：YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26 実行委員会
（株式会社横浜赤レンガ / 明治商工株式会社 / 株式会社ローソンエンタテインメント / 株式会社ゼータ）
共催：横浜市にぎわいスポーツ文化局
協力：一般社団法人ARK LEAGUE / 有限会社OVER THUMPZ / 公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟 / 株式会社トリデンテ / 株式会社HANDOFF / 日本フリースタイルフットボール連盟 / 一般社団法人パルクール鬼ごっこ協会
メディア協力：FINEPLAY
協賛：株式会社タカラトミー
問い合わせ先：info@yusf.jp
公式WEB：<https://yusf.jp>
公式SNS：Instagram https://instagram.com/yusf_pr
X https://x.com/yusf_pr
TikTok https://www.tiktok.com/@yusf_pr

ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26

[イベント概要]



ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26

- 名称：ALL AMERICAN FOOD FESTIVAL '26
会期：2026年10月17日（土）・18日（日）
※雨天決行、荒天時は中止いたします
営業時間：11:00～20:00（ラストオーダー 19:30）
入場料：無料 ※飲食代は別途
会場：横浜赤レンガ倉庫 イベント広場（神奈川県横浜市中区新港1-1）
主催：YOKOHAMA URBAN SPORTS FESTIVAL '26 実行委員会
特設サイト：<https://www.yokohama-akarenga.jp/event/american-fes/index.html>

※画像はイメージです ※実施内容は予告なく変更する場合がございます。